

# 新年のごあいさつ

理事長 原口 和久(鴻巣市長)



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本組合の事業運営に関しまして、平素より多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、我が国においては、少子高齢化社会の急速な進展に伴い、国民皆保険・皆年金などの社会保障制度を守り、進化させ、受け継いでいくための様々な改革が実施されております。昨年、医療保険制度におきましては、後期高齢者支援金の算出方法が全面報酬割となり、介護納付金の算出方法も8月より総報酬割が導入され、年金制度におきましては、受給資格期間の短縮(25年⇒10年)措置が講じられましたが、これらの改正は、社会保障制度全体の枠組みの中で行われる仕組みになっており、本組合の努力だけでは解決できない問題となっております。

次に本組合を取り巻く状況でございます。

事業の基盤となる掛金・負担金については、人事院勧告等により増収傾向となっているものの、医療費に係る短期経理については、増加する高齢者への支援金、生活習慣病の増加、医学の進歩に伴う高度先端医療費等により、引き続き、厳しい財政状況が予想されますが、皆様が安心して医療を受けられるよう財政の安定化に努めます。年金給付に係る長期経理については、被用者年金制度一元化後においても、本組合が、引き続き、年金記録の管理・裁定事務等を担っておりますので、組合員並びに年金受給者の皆様に対し、「丁寧な説明」と「ワンストップサービスの充実」に努めて参ります。

また、今後、本格化する短期・長期事務に係るマイナンバーの情報連携につきましては、個人情報漏えい等がないよう、適正な情報セキュリティの運営に努めて参ります。

次に、福祉事業等につきましては、現在、第1期データヘルス計画(平成27年度～平成29年度)により、健康課題の解決に取り組んでおります。今年度中に策定する第2期計画(平成30年度～平成35年度)においては、保健事業の実効性が高まる内容とし、策定次第、ホームページ等で周知させていただきます。

また、特定保健指導の実施率を向上させるための取り組みにつきましては、高齢者支援金に影響を与えることから、昨年、各自治体等に協力要請等をさせていただきましたが、今後も取り組みを強化し、実施率の向上に繋げていきたいと考えております。

草津保養所「アルペンローズ」につきましては、組合員及びご家族の皆様へ愛される施設を目指し、鋭意努力をしておりますので、格別のご愛顧を賜りますようお願いいたします。

共済組合を取り巻く状況が大きく変化する中、課題が山積しておりますが、役職員一同、組合員とご家族の皆様のご生活の安定と福祉の向上に寄与できるよう、引き続き、努力して参りますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、各自治体のご発展と組合員皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

「市町村長側議員」

理事長 原口 和久(鴻巣市)

理事 富岡 清(熊谷市)

理事 (理事長職務代理者) 大橋 良一(加須市)

理事 富岡 勝則(朝霞市)

理事 関根 孝道(上里町)

監事 清水 勇人(さいたま市)

議員 石川 良三(春日部市)

議員 頼高 英雄(蕨市)

議員 林伊 佐雄(三芳町)

議員 川合 善明(川越市)

「職員側議員」

理事 持田 明彦(小川町)

理事 國分 政義(さいたま市)

理事 松本 貢一(新座市)

理事 坂本 善雄(深谷市)

監事 板山 裕樹(草加市)

議員 横溝 光男(川越市)

議員 白井 正(吉川市)

議員 川野 道広(川口市)

議員 半貫 芳男(狭山市)

議員 堀部 信和(久喜市)

学識経験監事 寺山 昌文

事務局 中村 史

外職員一同

謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます。